

第44回千葉県経営者協会・連合千葉 定期懇談会

2/17(水)、千葉市において千葉県経営者協会との定期懇談会を行いました。緊急事態宣言下で開催も危ぶまれましたが、両者とも「こう言う時だからこそ意見交換が必要」と、規模を縮小して開催に至りました。例年30名規模ですが、今年は全体で10名。その分、積極的な議論ができたようにも思えます。

意見交換では、コロナ禍における課題や、テレワーク導入の課題、同一労働同一賃金、高齢者雇用などを中心に話を進めました。新型コロナに関しては、連合千葉から具体的に寄せられている労働相談の事例を紹介し、「特にエッセンシャルワーカー等、事業継続を求められている職場で働く者からは、感染リスクや差別的なハラスメント等、職場環境に不安を抱えているといった声が寄せられている。安心して働く職場環境の整備・構築には労使による職場環境整備に向けた取り組みとともに、消費者の意識等、社会に向けた発信・理解活動も重要であると考えている」と問題提起を行いました。

経営者協会からは「事業の継続、雇用の維持を最優先に取り組んで行く」とあり、本当の意味での労使の協力が、いま試されていると感じました。

コロナ禍により様々な会議が延期・中止、オンライン開催される中で、縮小したとは言え、千葉県内の労使が集い意見交換を行ったことの意義を重く受け止めたいと思います。



ソーシャルディスタンスを確保した会場の様子



連合の春闘方針を説明する
高柳副事務局長

第92回千葉県中央メーテー

「今こそ心をひとつに！ 働く仲間の笑顔のために感謝と
思いやりの絆をつなぎ希望あふれる未来を切り拓こう！」

この間、千葉市の千葉ポートパーク円形広場において、組合員とその家族、約6,000人が参加し、開催してきた千葉県中央メーテー。しかし、昨年はコロナ禍によりWeb開催を余儀なくされました。新型コロナウイルスは、まだまだ終息の域には達していません。それでも、その対策は分かりだしwithコロナの新たな時代の取り組みが求められていると言えます。

そこで、今年は人数を限定したメイン会場を設けると共にWeb併用開催とします。また、地域メーテーも合同開催とし、県内数カ所にパブリックビュー会場を設置予定です。

さらに、YouTubeの連合千葉チャンネルで、生配信を行いたいと考えています。メイン会場やパブリックビュー会場への参加は、人数制限があるため所属組合にて確認ください。Web参加に関しては、下記のQRコードよりアクセス可能です。

日時：2021年4月29日(木・祝) 10:00～11:00

**メイン会場：京成ホテルミラマーレ
パブリックビュー会場：調整中**



写真は2019年の様子



式典の様子



サラブレット乗馬体験



同僚や家族と楽しいひと時



大盛況の模擬店

NEWS 連合千葉



<http://chiba.jtuc-rengo.jp/>

日本労働組合総連合会
千葉県連合会(連合千葉)

発行人 永富博之 編集人 小山良成
〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10
千葉県教育会館 新館6階

TEL 043-201-2022 FAX 043-201-2023

No.189

2021年3月

2021 春季生活闘争総決起集会 小谷会長挨拶

連合千葉 2021 春季生活闘争総決起集会にご参集いただきありがとうございます。決起集会の目的には大きく2つあると考えます。1つは、構成組織全体として意志結集を行うことです。組織の意志結集を行うためには、コロナ禍ではあるものの出来る限りの一体感を創り出す手段として、地域協議会単位でWeb参加ならびに個々人にWebでの生視聴を求めたところです。そして2つ目の広く社会へのアピールという点では、従来のようなデモ行進はできないため、地域協議会での街頭宣伝活動の実施とともに、YouTubeの連合千葉チャンネルでの配信を行います。そのうえで 2021 春季生活闘争の意義という視点で、何点か申し述べさせていただきます。

1点目は、「賃上げの流れを止めない、その上で全ての労働者に波及させる」という点です。新型コロナの影響による目先の厳しさだけに捉われることなく、労働者全体の賃金を引き上げることで、個人消費を拡大させ、経済の活性化につなげていくことが必要です。そのためには、我々労働組合のある組織がけん引役を果たしていく、すなわち 2014 年以降続いている賃上げの流れを止めることなく、着実な成果獲得を果たし、労働者全体へ波及させていくことが必要です。

もう1つは「雇用を守る・創り出す、そのためのできる限りの手立てを尽くす」という点です。この1年私たちの生活は様々な影響を受けました。命と健康を守ることを最優先としながらも、一方で雇用問題は深刻な状況となっています。コロナ関連の企業倒産は全国で1,000件を超え、コロナ関連失業者は8万人を超えたとされており、今後もさらに増える可能性があります。また、より厳しい環境におかれている中小企業や下請け企業へのしわ寄せも危惧されます。構成組織におかれでは、こうした点を意識した交渉展開をお願いします。

一方で、政策制度改善の取り組みの重要性がより高まっています。今回のコロナのような自らの努力では対応ができない場合、公助がより強く求められます。すなわち的確な状況把握と対応、スピード感といった、その対応方法に対する行政・政治の重要性を改めて認識させられたところです。これまで連合本部はもちろん、連合千葉、各地域協議会それぞれにおいて、国・県・市町村に對して雇用を守ることを主眼に、各種助成金の拡充など、要請行動を行ってきました。引き続き状況を見極めながら、適宜・適切に対応していかないと考えております。

そして政策制度改善は、政治の力が必要です。コロナ禍では、国政に限らず、それぞの行政のリーダーシップ性が強く問われたと感じています。3月には千葉県知事選、千葉市長選、そして今年10月までには衆議院選挙も行われます。県知事選・千葉市長選の4年前、8年前の投票率は、いずれも30%前後という結果でした。「変わらない」ではなく自分が選ばなくては「何も変えることができない」ということをこの場で再確認したいと思います。

2021 春季生活闘争は、これからが本格的な交渉となってきます。最後まで、連合千葉として一丸となって取り組むことを皆様とともに確認し、主催者を代表しての挨拶といたします。

以上



連合千葉 小谷会長

※小谷会長の挨拶ならびに集会の全容は2面のURLまたはQRコードより視聴可能です。

連合千葉2021春季生活闘争総決起集会

誰もが希望を持てる社会を実現!
安心・安全に働く環境整備と「底上げ」「底支え」「格差是正」で

2月20日(土)10時より三井ガーデンホテル(千葉市)において「連合千葉2021春季生活闘争総決起集会」を開催しました。

連合本部からは富田総合政策推進局総局長が会場参加。「雇用のセーフティネットを強化する中で、雇用も賃上げもしっかり取り組み、社会の持続性を担保していきたい。また、分配構造の転換を最重要課題として取り組む」との挨拶がありました。

続いて、立憲民主党千葉県総支部連合会代表の生方幸夫衆議院議員が登壇。「日本の労働分配率は下がる一方。かつては70%を越えていたが現在は50数%となっている。反面、企業の内部留保は増え続けている。今こそ労働者の賃金を上げるべきだ」とありました。

決意表明には、流通・サービス部会の白坂隼人さん(UAゼンセン)、金属部会の横山洋人さん(電機連合)、外房地域協議会の織本幸市議長(JP労組)の3名が立ち、コロナ禍における各職場の現状と春闘の取り組み報告がありました。

熊谷俊人千葉県知事選挙立候補予定者からはビデオメッセージが届き、「労働条件の改善を始めとする生活改善の実現に向けて取り組んでいく」とありました。また、会場に駆けつけた神谷俊一千葉市長選挙立候補予定者からは「新しい千葉の時代を作りましょう」との力強い決意表明がありました。



ビデオレターで挨拶する熊谷氏



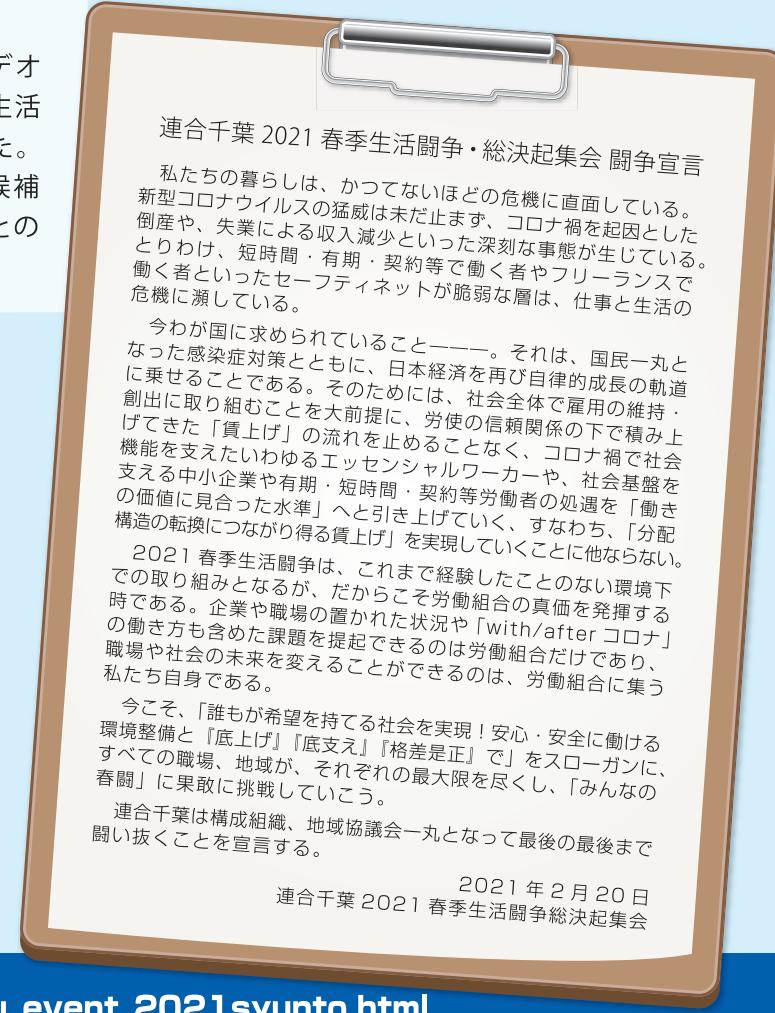
決意表明する神谷氏



来賓挨拶に立つ生方代表



団結ガングバロー



http://chiba.jtuc-rengo.jp/siryou_event_2021syunto.html

連合千葉2021政治研修会を開催

連合千葉は、各種取り組みの展開にあたり、コンプライアンスを最も大切なことと位置付けています。そこで、関係法令を理解し「法令遵守」の徹底を図るために政治研修会をWeb開催しました。2/6(土)の午後開催でしたが100名近い参加がありました。

講師には、吉峯総合法律事務所の吉峯真毅(連合千葉顧問弁護士)氏を招き「法令を遵守した政治活動と選挙運動について」との講演を受けました。吉峰弁護士からは「特に公示前は事前運動と誤解を受けないように留意を願いたい」とありました。参加者からも数多くの質問が寄せられ、コンプライアンスの大切さを再確認できた研修会でした。

また、第2部としてLINEみらい財団より理事の村井宗明(元民主党衆議院議員)氏を招き「SNSを活用した選挙対応について」を学びました。



2021春季生活闘争街宣行動を実施

連合千葉は、2021春季生活闘争の世論喚起を目的として2月4日から26日の間、千葉県全域でキャラバン街宣行動を実施しました。例年であれば県内主要各駅での駅頭街宣も行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策を考慮し街宣車を使用したPRのみとしました。PRでは、エッセンシャルワーカーの「働きに見合った水準」を求めることが訴えるとともに、各種労働に係る法改正についても周知を行いました。

また、2月24日には「誰もが希望を持てる社会の実現!」を主軸に、連合千葉の専従役員による千葉駅前での街宣行動を実施しました。

現在、残念ながら労働相談の件数が増えています。働く上で困ったことがあれば一人で悩まず、連合千葉の「なんでも労働相談」へご連絡ください。専門のアドバイザーが対応いたします。

フリーダイヤル **0120-154-052** (いこーよ れんごうに)



連合千葉第24回3.8国際女性デー

1857年にニューヨークの被服工場の火災で多くの女性たちが亡くなつたことを受け、3月8日に女性たちが低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが「3.8国際女性デー」の起源であると言われています。1975年には、女性の社会参画を願う日として国連により3月8日を「国際女性デー」と制定されました。

連合は「3.8国際女性デー」の取り組みを全国統一行動として「誰もが自分らしく輝ける、多様性のある男女平等参画社会を実現しよう!」をテーマに、男女賃金格差の是正、あらゆる暴力やハラスメントの根絶、差別の禁止等に取り組んでいます。

連合千葉は、3月6日(土)にオークラ千葉ホテルにおいてWeb併用形式の研修会を開催し、その後、千葉市内で街宣行動を実施しました。研修会では、上智大学の三浦まり教授を招き「なぜ女性は意思決定に参画すべきか? コロナ禍で考えるジェンダー」との講演を受けました。講師からは、コロナ禍における世界の女性リーダーの活躍と具体的な成果が報告される一方、女性不況の現実についても話があり、性差課題の根深さを感じずにはいられませんでした。

研修会後に千葉市内で行った街宣行動では、リレートークにより「3.8国際女性デー」のシンボルである「パンとバラ」(※)の紹介などを行いました。

* 賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」が、国際女性デーのシンボルマークとされています。



講師の三浦まり教授



Web 参加の皆さん



研修会の様子



街宣行動の様子